

1 . 件名 : 中国電力との面談

2 . 日時 : 令和3年7月6日(火) 10:30 ~ 11:05

3 . 場所 : 原子力規制庁8階会議室

4 . 出席者 :

原子力規制庁 長官官房技術基盤グループ技術基盤課

遠山課長、佐々木企画調整官、鈴木課長補佐

原子力規制部原子力規制企画課

大島課長、村上課長補佐

中国電力株式会社 三村執行役員 電源事業本部 部長(原子力管理)ほか10名

5 . 要旨 :

中国電力から、資料に基づき説明があった。

資料1について、原子力規制庁から、当時の発電所における保管方法が本社の保管方法に照らして適切と考えていたかについて確認した。

中国電力から、他の文書と識別ができない状態で保管していたことについて適切ではなかったと考えているとの回答があった。

また、本社と異なり、発電所における当時の保管方法等が明確でなかったとの説明があった。

原子力規制庁から、今後の中国電力における特重非公開ガイドの文書管理方針について確認したところ、中国電力から、今後の方針については、品質保証(QMS)の下で明確に位置付けるなど検討しているとの説明があった。

6 . 配付資料 :

資料1 特重非公開ガイド廃棄に係わる当時の文書管理について

資料2 特重非公開ガイド廃棄に係わるシュレッダー廃棄と判断した理由について

資料3 島根原子力発電所における文書、記録等の誤廃棄事象の発生状況について

資料4 原子力発電保安委員会の運用状況について

以上